

夜の紙博

光る森と虹色の羊

夜の部

2026

11.13(金)~11.15(日)

17:00~20:30 (入館は20:00まで)

昼の部

11.7(土)~11.15(日)

9:00~17:00 昼の部限定 特別展示あり

物語の世界を歩く、特別な夜。
男の子がたどった不思議な旅を、
あなたも体験してみませんか？

和紙がつなぐ、光と心の物語。
あなたも虹色の羊に出会えるかもしれない。

いの町紙の博物館

入館料／大人500円 小中高生100円
(小学生未満無料)

〒781-2103
高知県吾川郡いの町幸町110-1
TEL: 088-893-0886



心踊る、文化咲く——
第41回 国民文化祭 第26回 全国障害者芸術・文化祭
よさこい高知文化祭2026
令和8年10月25日(日)~12月6日(日)

主催：いの町紙の博物館、文化庁、厚生労働省、高知県、よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会
総合企画：GOROGORO KOYONAKU (齋藤与志彰) 令和8年度第76回高知県芸術祭協賛行事
後援：高知県手すき和紙協同組合/高知新聞社/RKC高知放送/KUTVテレビ高知/KSSさんさんテレビ/NHK高知放送局/毎日新聞高知支局/朝日新聞高知総局/エフエム高知/読売新聞高知支局

和紙がつなく、光と心の物語。

— 小さな男の子の、ちょっとふしぎな旅 —

物語体験型展示

物語の世界を実際に歩いて体験しよう

詳しくは最終ページへ →



山あいの町で、
70年もの間和紙を作り続ける
おばあちゃん。
その丁寧な手仕事は、
たくさんの人の心をつないできました。

1



男の子は、おばあちゃんに
「ありがとう」を伝えるため、
土佐和紙でお花を作りました。

一輪一輪、心を込めて。

花束を大切に抱えて、
男の子はおばあちゃんのもとへ
向かいました。

2



すると、駅に見たことのない
電車がやってきました。

「あれ？ いつもの電車と違う……」

でも、行き先は
おばあちゃんがいる
「紙の博物館」。

男の子は、その不思議な電車に
乗ることにしました。

3



ガタン、ゴトン——。
電車が走り出すと、
窓の外に、ふしぎな光景が広がりました。
白い和紙の花が、次々と咲いていくのです。

「わあ……！ お花が咲いている……！」
男の子は、目をまるくして見つめました。

4



ガタン、ゴトン——。
電車は森の中を走ります。
すると、見たことのない景色が
広がっていました。

森全体が光に包まれていたのです。

「わあ……！」
男の子は、息をのんで
窓の外を見つめました。

5



電車は、紙の博物館に到着しました。

男の子は電車を降り、
光る森の中へ歩いていきました。

そこには、たくさんの羊たちがいました。

その中に一匹だけ、
七色に輝く羊がいました。

男の子は思わず、
「なんて綺麗な羊なんだろう……」
と、見つめました。

6

あなたも 虹色の羊に出会えるかもしれない。

7

男の子が、そっと羊に触れると——
白い花束が、みるみるうちに
七色に輝きはじめました。

「わあ……！」

男の子は、うれしい気持ちで
いっぱいになりました。

この花束を、おばあちゃんに届けよう。
きっと、ありがとうの気持ちが
伝わるはず——。

あとがき

この物語は、70年間、和紙を漉き続けてきた紙漉き職人、友草喜美枝さんへの「ありがとう」から生まれました。物語の中で、電車のあとに咲いていく白い花は、和紙が人から人へ、町から町へと広がっていったことを表しています。かつて「土佐電」は土佐和紙を運び、いの町の紙づくりを支える大切な道となりました。そして今回、みんなで作る一輪一輪の花が、ひとつの虹色の花束になります。昔、紙を運んだ電車。今、想いを運ぶ人たち。たくさんの「ありがとう」が、夜の森で光ります。

物語体験MAP

男の子がたどった道を、あなたも歩いてみよう。



電車



白い花



光る森



虹色の羊

この物語の続きを、館内で体験できます。



紙漉き職人 友草さん

無料ワークショップ

電車の周りに咲く お花をつくろう。

電車が走ったあと、
線路のまわりに次々と咲いていく
白い和紙のお花。
みんなでお花をつかって、
物語の世界に咲かせませんか？



作ったお花は、
夜間開催日に
会場内でやさしく光ります。

- 開催日時 11/7(土)～11/12(木) 9:00～17:00
11/13(金)～11/15(日) 9:00～20:00
- 場所 紙の博物館 2F 特設ルーム
(夜間開催時は場所の変更あり)
- 参加費 無料(入館料別途要)
※材料が無くなり次第終了いたします。

無料ワークショップ

友草さんへ贈る カラフルなお花を作ろう

土佐和紙で、虹のようにカラフルなお花を作って、
おばあちゃん(友草さん)に「ありがとう」の気持ちを
贈りませんか？
作ったお花は、夜間開催日、会場内に飾られます。



- 開催日時 11/7(土)～11/12(木)
9:00～17:00
- 場所 紙の博物館 2F 特設ルーム
- 参加費 無料(入館料別途要)
※材料が無くなり次第終了いたします。

ありがとうの
気持ちを、
お花に込めて。

紙漉きランプ作り体験 10/28 (水) ~11/15 (日) (※要事前予約)



Workshops

LIGHT ON!!
やさしい光に包まれる

new!

料金 2,500円 (入館料別途)	期間 10/28(水)~11/15(日)	事前予約制	ランプ付きで、組み立て後 すぐにお使いいただけます。	猫、家、鳥のランプの 3種類からお選びいただけます
---	--------------------------------	--------------	---------------------------------------	--------------------------------------

予約体験 10/28(水)~11/15(日)

- 夜の部当日の体験は混雑が予想されます。10/28~11/12の期間の体験をおすすめします。
- 11/12までに体験いただいた方には、夜の部招待券をプレゼント!

イベント当日の体験 (予約不要・数量限定)

- 混雑が予想されます。
- ランプの組み立て作業のみとなります。
- 材料がなくなり次第、終了となります。

体験詳細↓


物語体験型展示
物語の世界を実際に歩いて体験しよう

館内を彩る光の作品。昼と夜で異なる表情をお楽しみください。

夜の部



※イメージ画

白い花と電車の景色
(1階エントランス)

夜の部



光る森
(1階中庭)

夜の部



※イメージ画

虹色の羊
(1階中庭)

夜の部

昼の部



※飲食の提供は夜の部のみとなります。

小鳥カフェ
(2階)

夜の部

昼の部



※釣りくじは夜の部のみに
お楽しみいただけます。

釣りくじ
(1階)

昼の部



灯りの密談
(2階)

総合企画：齋藤与志彰
GOROGORO KOYONAKU

「夜の紙博」総合企画を担当して6年目。

土佐和紙や不織布を用いた立体造形・空間演出・体験型ワークショップの企画・制作を行う。

素材の透過性と光の特性を活かし、空間に物語性と没入感を生み出す作品を展開。

近年は、屋内外でのインスタレーションや参加型アートを中心に活動し、体験設計を得意とする。来場者が作品の一部となる体験設計を得意とする。

高知県を拠点に、展示・イベントなどでの空間演出を手がける。

よさこい高知 宵の舞

開催日時 2026年 **10月30日(金)~11月3日(火・祝)**
17:00~19:00

開催場所 高知城 二の丸
夜の紙博 PRブース

高知城に、5日間だけの
「光る森」が現れます。



● 臨時休館のお知らせ
リニューアル工事のため、下記の期間は休館いたします。
ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。
休館期間 (予定) 11/16 (月) ~2027/3/31 (水)

● 「第13回高知国際版画トリエンナーレ展」
9/19 (土) ~11/15 (日)
世界中から選り抜かれた作品が、高知に集結。